


東日本大震災による 水産への影響と対応

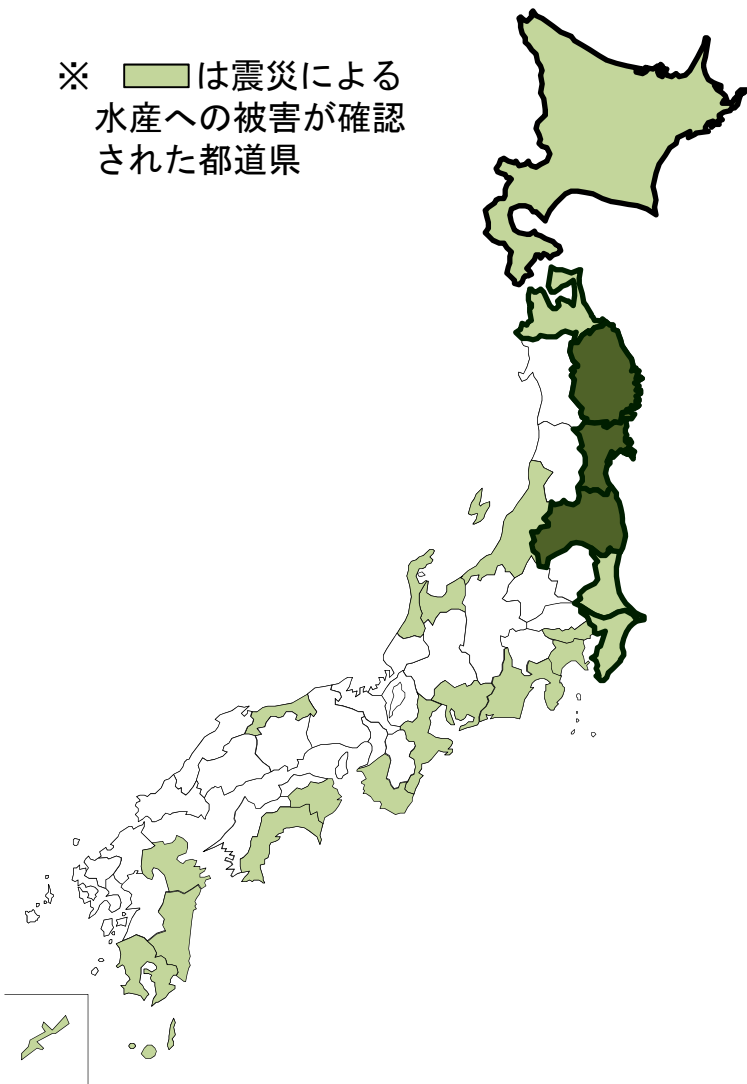
(水産への被害)

水産庁

水産への被害(漁船、漁港、養殖、共同利用施設)

- 東日本大震災に伴う津波により、北海道から千葉県の7道県をはじめ、全国で大きな被害が発生。被害は震源に近い岩手県、宮城県、福島県で特に大きく、その沿岸域はほぼ全域にわたり壊滅的な状況。

※  は震災による水産への被害が確認された都道県



水産関係被害

被害額合計：1兆2,637億円(うち7道県：1兆2,544億円)

主な被害	全国		うち7道県	
	被害数	被害額	被害数	被害額
漁船	28,612隻	1,822億円	28,479隻	1,812億円
漁港施設	319漁港	8,230億円	319漁港	8,230億円
養殖関係 (うち 養殖施設) (うち 養殖物)		1,335億円 (738億円) (597億円)		1,254億円 (719億円) (534億円)
共同利用施設	1,725施設	1,249億円	1,714施設	1,247億円

注：本表に掲げた被害のほか、民間企業が所有する水産加工施設や製氷冷凍冷蔵施設等に約1,600億円の被害がある(水産加工団体等からの聞き取り)。

鮎川漁港に打ち上げられた漁船
(宮城県石巻市)



津波で損壊した寄磯漁港水産加工工場
(宮城県石巻市)

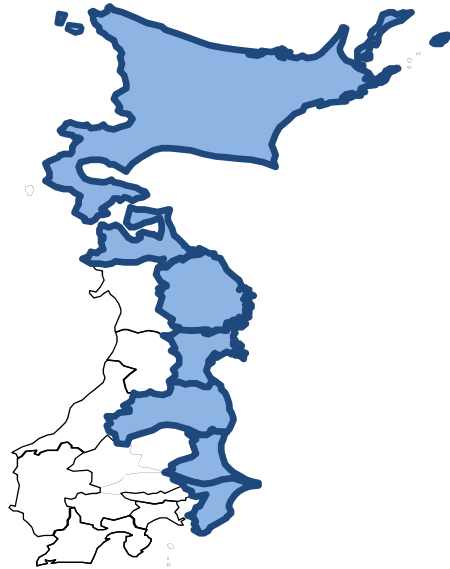


注1：被害の数値等は平成24年4月18日時点。

注2：被害状況の把握が進めば、数値等は今後も変わる可能性があります。

被害の大きかった7道県の水産への被害

- 全国の海面漁業・養殖業生産量の5割を占める7道県(北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉)を中心に広範な地域で大きな被害。



7道県における水産関係被害

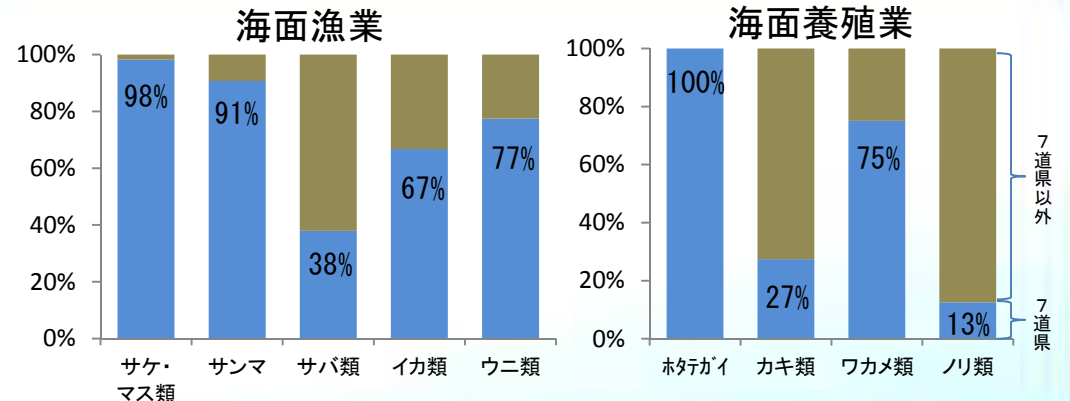
漁船	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7道県の漁船約2万8千隻余りが被災。〔7道県の保険加入隻数(51,445隻)〕 ・ 特に岩手、宮城県では壊滅的な状況。
市場・漁港等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7道県に所在する319漁港が被災し、その被害額は8,230億円。 ・ 隣接する大半の市場が被災。全壊は22市場。
施設工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7道県に所在する2,108施設のうち、全壊が570施設、半壊113施設、浸水140施設。
施設養殖	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7道県の被害額は1,254億円(養殖物も含む)。

注1：被害の数値等は平成24年4月18日時点。

注2：被害状況の把握が進めば、数値等は今後も変わる可能性があります。

7道県の水産の全国に占めるシェア

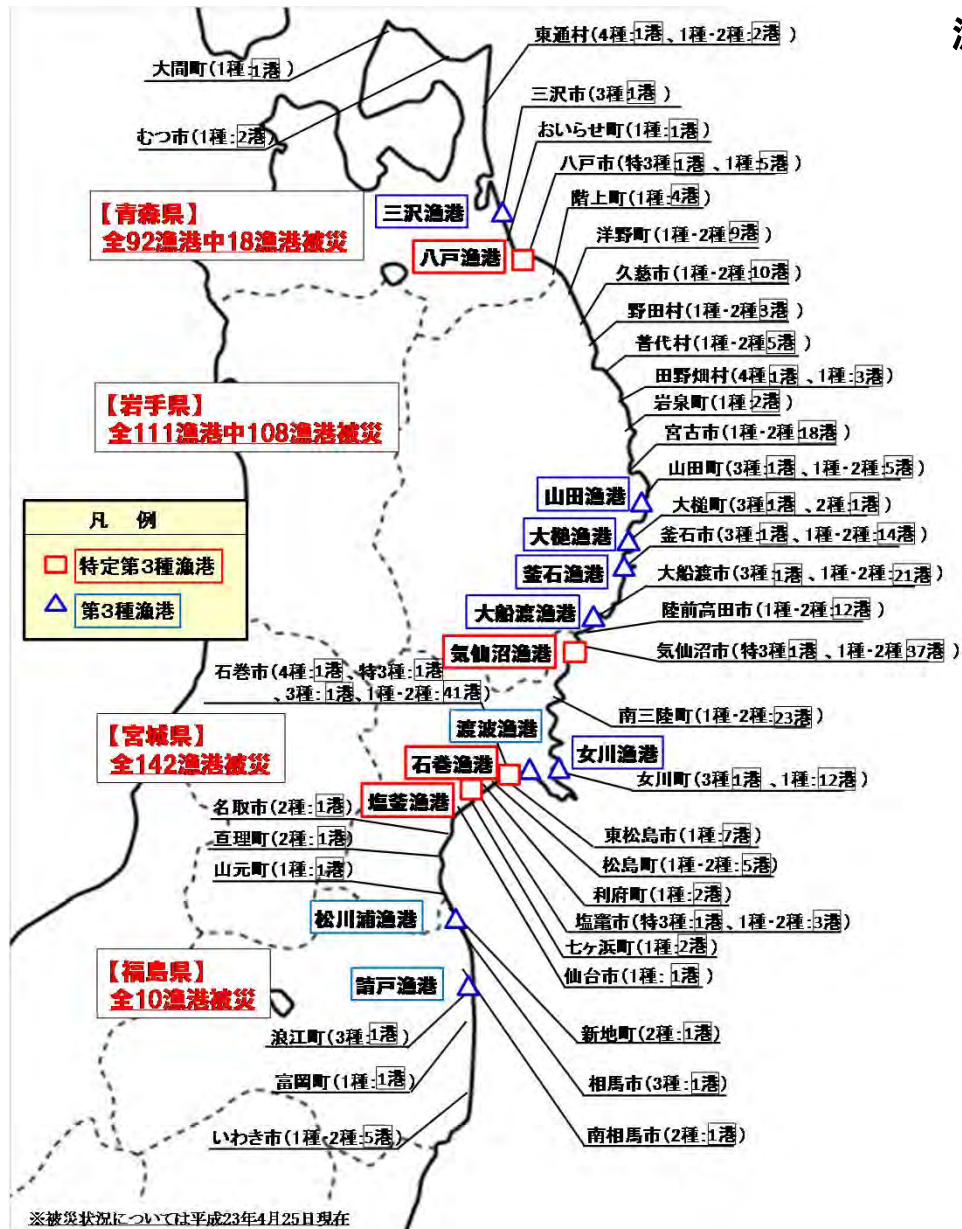
	7道県	全国	7県のシェア
海面漁業生産量(千トン)	2,163	4,083	53.0%
海面養殖業生産量(千トン)	423	1,109	38.1%
漁船数(漁業保険加入隻数)(隻)	51,445	191,574	26.9%
漁業就業者数(人)	73,948	221,908	33.3%



注：被災7道県の漁船隻数のうち、北海道については、太平洋側地域の漁船隻数のみを使用。

資料：[生産量]漁業・養殖業生産統計(平成22年) [就業者]漁業センサス(2008年)
[漁船数]漁船保険加入隻数(平成21年度)

東日本大震災により被災を受けた漁港（東北圏域）



漁港の種類

第1種……利用範囲が地元の漁業を主とするもの

第2種……利用範囲が1種よりも広く、3種でないもの

第3種……利用範囲が全国的なもの

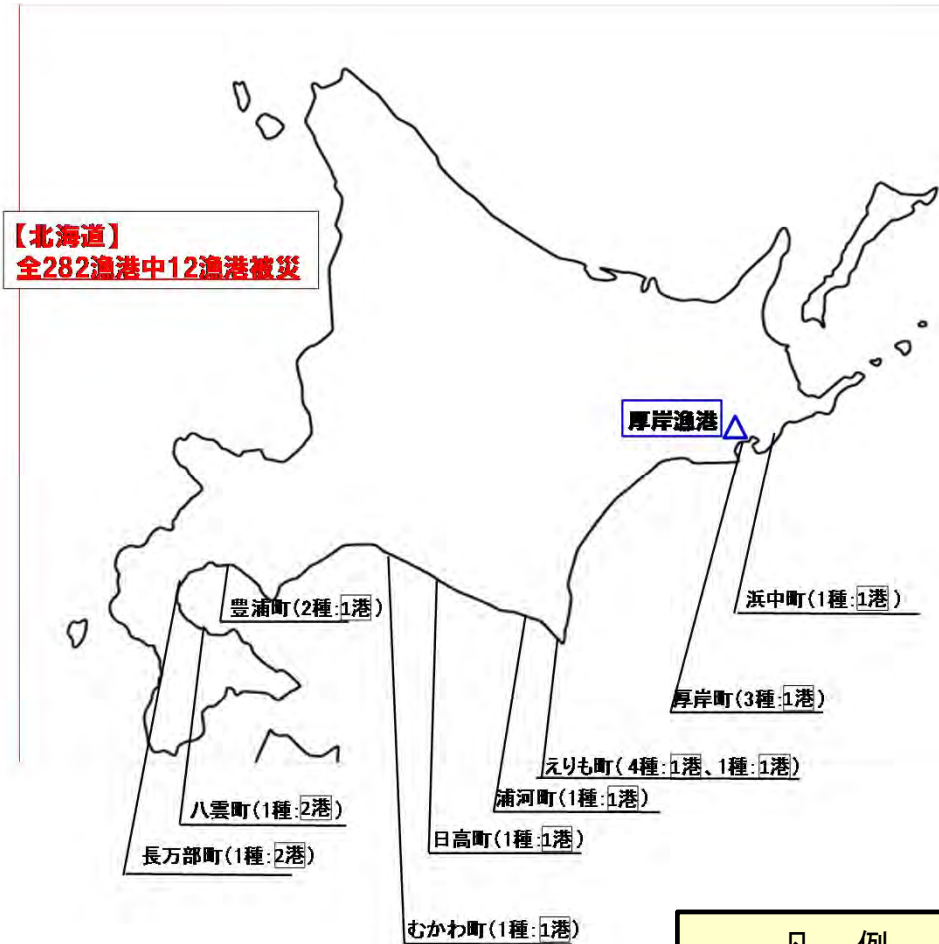
※特定第3種…第3種漁港のうち水産の振興上特に重要なもの

第4種……離島その他辺地にあつて漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの

	現有漁港数	被災漁港数
北海道	282	12
青森	92	18
岩手	111	108
宮城	142	142
福島	10	10
茨城	24	16
千葉	69	13
計	730	319

東日本大震災により被災を受けた漁港（北海道・関東圏域）

【北海道】
全282漁港中12漁港被災



凡 例	
□	特定第3種漁港
△	第3種漁港

【茨城県】
全24漁港中16漁港被災

